

臓器線維化抑制剤

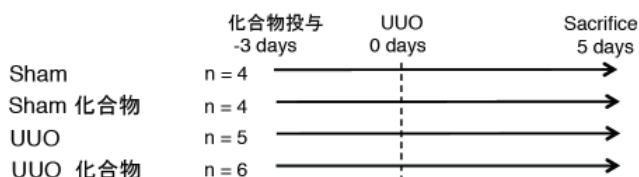
腎線維化モデルマウスで線維化及び炎症改善効果を確認！

概要

腎臓が何らかの原因によって障害を受けると、炎症や線維化が発症することが知られている。症状が進行すると、腎不全になり、定期的に人工透析を行わなければならない。人工透析は患者にとって負担が大きく、人工透析導入の時期を遅らせることができる治療薬の開発が望まれている。

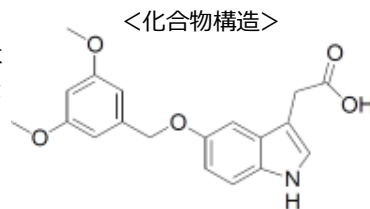
本発明者らは、抗炎症、抗線維化作用がある化合物を見出した。本発明の化合物群は、線維化抑制薬としての活用を期待できる。

方法／投与した化合物構造

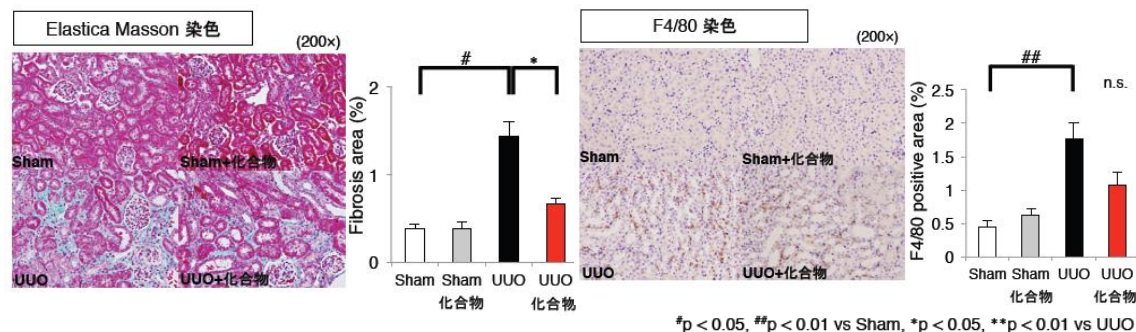


UUOモデルマウスの腹腔内に埋め込んだ浸透圧ポンプにより化合物（2mg/日）を、UUO施行3日前より8日間持続投与し、投与後の腎臓の組織学的変化と線維化、炎症関連遺伝子の発現変化を評価した。

* UUO（片側尿管結紮）：腎線維化モデル

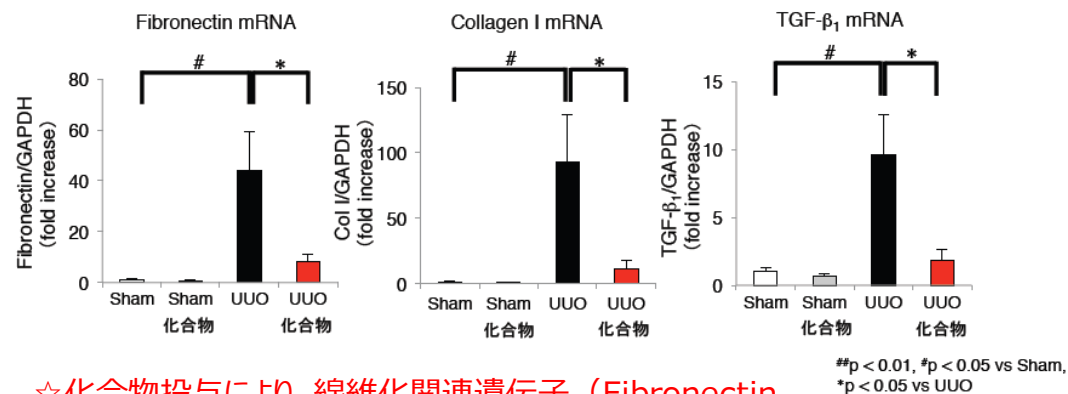


化合物投与による腎臓の組織学的変化



☆化合物投与により、線維化改善、F4/80陽性浸潤マクロファージ数減少。

腎における線維化関連遺伝子の発現変化



☆化合物投与により、線維化関連遺伝子（Fibronectin、Collagen I、TGF-β₁）の発現が有意に減少。

特許データシート

特許番号：特許第6372817号

発明者：阿部高明（東北大）、林謙一郎（岡山理科大）

出願人：東北大学、加計学園（岡山理科大学）

連絡先

株式会社 東北テクノアーチ

TEL 022-222-3049 FAX 022-222-3419

お問い合わせは、[こちら](mailto:info@tohoku-technoarch.com)からお願いします。